

様式(細則 5-2)

令和 4 年 12 月 28 日

浜田市議会議長

笹田 年

様

議員名 牛尾 昭

## 調査研究活動報告書

下記のとおり調査研究のため視察等を行ったので、その結果を報告します。

### 記

1. 期 間 令和 4 年 12 月 21 日 ~ 月 日  
PM 14:30 ~ PM 16:40
2. 視察内容  
議会と監査の連携(議選監査委員とは、監査報告の連携  
必要性)
3. 視察先  
IC-カウ・マニエラ推進連盟
4. 調査経費 5,220 円  
(経費内訳 5,000 円、 220 円)
5. 調査研究活動の概要  
別紙にて。



研修先：ローカル・マニフェスト推進連盟。

テーマ：議会と監査の連携（議選監査委員または、監査委員との連携の必要性）

日時：12月21日、pm14:00～16:40

オンライン研修会

講演：マニフェスト研究所顧問、北川正恭氏

「未来の地方議会からのバックキャスティング～監査委員を使い倒せ～」

講演：大正大学教授、江藤俊昭氏

「監査委員と議会の連携」

事例発表：可児市議選監査委員、川上文浩氏

「議選監査委員の今までとこれから～監査委員は行政のかりつけ医」

事例発表：会津若松市議選監査委員、目黒章三郎氏

「議選監査としての役割」

事例発表：あきる野市議会議選監査委員、子籠敏人氏

「議選監査となって一年の挑戦」

パネルディスカッション：「議選監査委員の現状とあるべき

姿」

コーディネーター：江藤俊昭氏

パネラー：川上文浩：目黒章三郎：子籠敏人

考察、かねてから、議選監査委員の守秘義務の範疇により、監査経験を議会にはフィードバック出来ないと考えていたが、江藤俊昭氏は「個人情報保護法に触れない程度は、一部の議員だけではなく、全議員が共有すべき。」とか、議長経験者の議選監査委員の視点は、「行政職員は監査を嫌がり隠したが、実は自分たちのリスクマネジメントになり住民福祉の向上にも繋がる。」との見解、あるいは監査がしっかり機能すると役所が変わるという事。議会から選出される監査委員は決して名誉職ではなく、適切な議員がつけば議会が成長するとか、大いに参考になった。

以上、報告致します。牛尾昭。